

はじめに

県民や県内産業に対する貢献度の高い、スリムで効率的な試験研究機関を目指し、県立の8つの技術センターを統合して設立した広島県立総合技術研究所は、早いもので設立から3回目の春を迎えようとしております。

平成20年度は、米国の金融危機に端を発した突然の景気減速に見舞われ、本県経済も輸出の急激な減少や雇用環境の悪化など、深刻な影響を受けております。世界中が金融工学の不幸事に不意をつかれた格好ですが、一方では中国など新興国の経済成長、日本の少子高齢化、地球温暖化、原油など資源の枯渇といった予測しうる時代の変化も着々と進んでおります。

広島県の産業が将来にわたって安定的・持続的に発展し続けていくためには、これらの変化が県内産業に及ぼす具体的な影響を予測し、関係者の英知を集めて準備することが必要です。変化に対応する術を、技術面から開発することが、研究所の使命です。

ここに掲載いたしました内容は、最近の研究成果のうち、特に実用化の段階にあるものです。これらの成果が、県民の皆様や県内産業に役立つことを期待しています。

皆様が悩んでおられる課題や将来によせる期待、皆様の声をお気軽に私共にお聞かせ下さい。広島県立総合技術研究所は県民の皆様の研究所です。

平成21年3月

広島県立総合技術研究所

所長 節家 孝志